

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成28年10月20日(2016.10.20)

【公表番号】特表2016-526907(P2016-526907A)

【公表日】平成28年9月8日(2016.9.8)

【年通号数】公開・登録公報2016-054

【出願番号】特願2016-531590(P2016-531590)

【国際特許分類】

A 2 3 K 20/158 (2016.01)

A 2 3 K 50/10 (2016.01)

A 2 3 K 20/26 (2016.01)

A 2 3 K 20/105 (2016.01)

A 2 3 K 20/111 (2016.01)

A 2 3 K 20/116 (2016.01)

A 2 3 K 20/142 (2016.01)

A 2 3 K 20/179 (2016.01)

A 2 3 K 20/174 (2016.01)

A 2 3 K 20/163 (2016.01)

A 2 3 K 20/137 (2016.01)

A 2 3 K 20/126 (2016.01)

A 2 3 K 20/121 (2016.01)

A 2 3 K 20/20 (2016.01)

A 2 3 K 10/33 (2016.01)

A 2 3 K 20/24 (2016.01)

A 2 3 K 10/16 (2016.01)

A 2 3 K 10/37 (2016.01)

A 2 3 K 10/30 (2016.01)

A 2 3 K 10/38 (2016.01)

A 2 3 K 10/32 (2016.01)

A 2 3 K 20/132 (2016.01)

A 2 3 K 20/147 (2016.01)

A 2 3 K 40/00 (2016.01)

A 2 3 K 40/20 (2016.01)

A 2 3 K 10/28 (2016.01)

A 2 3 K 10/20 (2016.01)

【 F I 】

A 2 3 K 20/158

A 2 3 K 50/10

A 2 3 K 20/26

A 2 3 K 20/105

A 2 3 K 20/111

A 2 3 K 20/116

A 2 3 K 20/142

A 2 3 K 20/179

A 2 3 K 20/174

A 2 3 K 20/163

A 2 3 K 20/137

A 2 3 K 20/126

A 2 3 K 20/121

A 2 3 K 20/20  
A 2 3 K 10/33  
A 2 3 K 20/24  
A 2 3 K 10/16  
A 2 3 K 10/37  
A 2 3 K 10/30  
A 2 3 K 10/38  
A 2 3 K 10/32  
A 2 3 K 20/132  
A 2 3 K 20/147  
A 2 3 K 40/00  
A 2 3 K 40/20  
A 2 3 K 10/28  
A 2 3 K 10/20

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月29日(2016.7.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

反芻動物のための栄養物であって、誘導体化部分によって誘導体化された少なくとも一つの脂肪酸部分を含む、栄養物。

【請求項 2】

前記脂肪酸部分は、前記誘導体化部分に共有結合的に結合されている、請求項1に記載の栄養物。

【請求項 3】

前記脂肪酸部分及び誘導体化部分は、エステル結合、アミド結合、ホスホナート結合、スルホネート結合、カルバメート結合、炭酸結合又はそれらの組み合わせによって共有結合的に結合されている、請求項1に記載の栄養物。

【請求項 4】

前記脂肪酸部分及び誘導体化部分は、ジオール、トリオール、ジアミン及びトリアミンのうちの少なくとも一つから誘導される連結要素によって共有結合的に結合されている、請求項1に記載の栄養物。

【請求項 5】

誘導体化部分によって誘導体化された前記脂肪酸部分は、XがO、N、S、P及びCからなる群より選択される約1から約20個の原子の連結基である、脂肪酸部分-CO-X-誘導体化部分によって表される構造式を有する、請求項1に記載の栄養物。

【請求項 6】

前記連結基は、アルキレン、アルケニレン、アルキニレン、アリーレン、アリーレン、シクロアルキレン、ヘテロアリーレン、ヘテロシクレン(heterocyclene)、アシル、アミド、アシロキシ、ウレタニレン(urethanylene)、チオエステル、ホスホニル、スルホニル、スルホンアミド、スルホニルエステル、-O-、-P-、-S-、-NH-、置換アミン又はそれらの組み合わせより独立して選択される、直鎖又は分岐、置換又は非置換二価部分を含む、請求項 5 に記載の栄養物。

【請求項 7】

前記脂肪酸部分は、飽和脂肪酸部分である、請求項1に記載の栄養物。

**【請求項 8】**

前記飽和脂肪酸部分は、パルミチン酸、ステアリン酸、カプリル酸、カプリン酸、ラウリン酸、ミリスチン酸、ヘキサン酸、酪酸又はそれらの組み合わせの部分を含む、請求項7に記載の栄養物。

**【請求項 9】**

前記脂肪酸部分は、不飽和脂肪酸部分である、請求項1に記載の栄養物。

**【請求項 10】**

前記不飽和脂肪酸部分は、ミリストレイン酸、パルミトレイン酸、オレイン酸、リノール酸、リノレン酸又はそれらの組み合わせの部分を含む、請求項9に記載の栄養物。

**【請求項 11】**

前記誘導体化部分は、アミノ酸、抗酸化剤、補酵素A、ホスファチジルコリン、単糖、糖生成前駆体又はそれらの組み合わせの部分を含む、請求項1に記載の栄養物。

**【請求項 12】**

前記アミノ酸は、ロイシン、リジン、ヒスチジン、バリン、アルギニン、スレオニン、イソロイシン、フェニルアラニン、メチオニン、トリプトファン、アラニン、アスパラギン、アスパルテート、システイン、グルタメート、グルタミン、グリシン、プロリン、セリン、チロシン又はそれらの組み合わせを含む、請求項11に記載の栄養物。

**【請求項 13】**

前記抗酸化剤は、アルファ-カロチン、ベータ-カロチン、エトキシキン、BHA、BHT、クリプトキサンチン、キサントフィル、リコペン、ゼアキサンチン、ビタミンA、ビタミンC、ビタミンE、ビタミンK、セレンウム、アルファ-リポ酸又はそれらの組み合わせを含む、請求項11に記載の栄養物。

**【請求項 14】**

前記単糖は、グルコース、ガラクトース、ラクトース、フルクトース又はそれらの組み合わせを含む、請求項11に記載の栄養物。

**【請求項 15】**

前記糖生成前駆体は、グリセリン、プロピレングリコール、糖蜜、プロピオナート、グリセリン、プロパンジオール、プロピオン酸カルシウム、プロピオン酸、オクタン酸又はそれらの組み合わせを含む、請求項11に記載の栄養物。

**【請求項 16】**

誘導体化部分によって誘導体化された少なくとも一つの前記脂肪酸部分は、1,2-ジパルミトイル-sn-グリセロ-3-ホスファチジルコリン、パルミトイル補酵素A、N-パルミトイルグリシン、パルミトイルカルニチン及びN-パルミトイル-L-アラニル-L-ヒスチジンのうちの少なくとも一つを含む、請求項1に記載の栄養物。

**【請求項 17】**

前記栄養物は、飼料であり、糖質源、窒素源、アミノ酸、アミノ酸誘導体、糖生成前駆体、ビタミン、ミネラル及び抗酸化剤のうちの少なくとも一つを更に含む、請求項1に記載の栄養物。

**【請求項 18】**

誘導体化部分によって誘導体化された前記脂肪酸部分は、少なくとも約5wt%の濃度で前記飼料に存在する、請求項17に記載の栄養物。

**【請求項 19】**

誘導体化部分によって誘導体化された少なくとも一つの脂肪酸部分を提供するステップと、

前記飼料組成物を作るために、誘導体化部分によって誘導体化された前記脂肪酸部分の少なくとも一つと、少なくとも一つの栄養物とを組み合わせるステップと、を有する、反芻動物用飼料組成物の製造方法。

**【請求項 20】**

前記少なくとも一つの栄養物は、少なくとも一つの糖質源及び少なくとも一つの窒素源である、請求項19に記載の方法。

## 【請求項 21】

前記飼料組成物を飼料ペレットにペレット化するステップと、前記飼料組成物を飼料ペレットに押出すステップのうちの少なくとも一つを更に含む、請求項19に記載の方法。